

## 小中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑 2023」に協賛 ～線路の敷石が作られる過程を紹介～

当社（社長：中戸川 稔）は、このたび、小中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑 2023」に協賛しました。「線路の石はどうやって作られているの?」というタイトルで、線路の敷石が作られる過程をイラストや写真で分かりやすく解説するとともに、その過程で使用される当社グループ中核事業会社の「マテリアル機械」（古河産機システムズ株式会社）と「油圧クローラドリル」・「油圧ブレーカ」（古河ロックドリル株式会社）を紹介しています。

今回の協賛により、より多くの子どもたちが働くことに興味を持ち、更には将来の進路選択の一助となることを期待しています。

「おしごと年鑑 2023」PDF：<https://www.furukawakk.co.jp/info/assets/pdf/oshigotonenkan2023.pdf>



出展：朝日新聞社・朝日学生新聞社「おしごと年鑑 2023」

### おしごと年鑑

「おしごと年鑑」は、朝日新聞社・朝日学生新聞社が発刊する小中学生向けのキャリア教育教材です。子どもたちが抱く素朴な疑問に対し、企業や団体の担当者が丁寧に答える構成になっています。全国の小中学校や教育委員会、こども食堂などに75,000部が寄贈され、キャリア教育の授業等で活用されています。

身近な生活につながるお仕事・食べたり飲んだりに関わるお仕事・社会の土台を支えるお仕事・未来を生み出す科学技術のお仕事・「知る」「学ぶ」「楽しむ」をかなえるお仕事の5つのカテゴリーが設定されており、当社のページは、「社会の土台を支えるお仕事」に掲載されています。

### 過去の協賛

・おしごと年鑑 2020「硬い岩盤を掘るにはどうしたらいいの?」

<https://oshihaku.jp/nenkan/page/13727341>

・おしごと年鑑 2021「クレーンはどうやって動いているの?」

<https://oshihaku.jp/nenkan/page/14376959>

・おしごと年鑑 2022「どうすればたくさんの土砂を運べるの?」

<https://oshihaku.jp/nenkan/page/14640472>

## 【補足資料】

### ■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治 8）年 8 月

設立：1918（大正 7）年 4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,831 人 〈単独〉208 人[2023 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河産機システムズ株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設立：2004（平成 16）年 5 月

資本金：3 億円

従業員数：453 名[2023 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和 36）年 6 月

資本金：4 億円

従業員数：505 人[2023 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<http://www.furukawarockdrill.co.jp/index.htm>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。